

あゆみ

ayumi



ごあいさつ



新年おめでとうございます。

令和元年12月8日に中国武漢の海鮮市場から広がった新型コロナウイルスにより、昨年は散々な一年でした。ご利用者やご家族のみなさまに大変な不便をお掛けしました。

100年に一度というような変革期を生きるわたしたちにとって、大きな脅威となりました。毎日大きな不安の中で過ごした一年でした。日々の感染者数に関する報道や外出制限により生活が、社会が、基本的な部分から揺さぶられた一年でした。マスクの不足とともにトイレットペーパーも店頭から失せ、どうなるのだろうという時期もありましたが、それも平常に戻り社会の底力を実感しました。

施設の中にウイルスが進入することを最も恐れましたが、無事に済んでいるのは職員一人ひとりの努力によるものです。

まだまだ安心はできませんが、ワクチン接種にも期待ができ活動の幅が少しは広がることと思います。

昨年自粛を強いられた分を取り戻すくらいの勢いで、あれもこれもと欲張りたい気持ちを抑えながら、慎重に進みたいと思います。

目黒四中跡地に建設してきたこぶしえんが4月1日に開園します。職員採用活動も新型コロナの影響により制限を受けましたが、みんな良くやってくれました。お金もそれなりにかけたし「やれるだけのことはやった」と言う思いです。開園に関する事業もまだまだ制限される中での開園ですが、コロナに負けず、地域に根ざした施設にみんなで育てて行きたいと思っています。

社会福祉法人 徳心会 理事長 関根陸雄



法人理念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」



あゆみ保育園だより

冬休みが終わり子どもたちの元気な声、足音、笑い声が園内に戻ってきました。

新しい年のスタートです。今年も、子どもたちと一緒に笑顔で園生活が送れるよう、子どもたちの思いを受け止めながら、職員一同力を合わせて保育していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い致します。

1月8日（金）の新年の集いには小さな獅子舞が登場しました。獅子舞には幸せを招くと共に厄病退治や悪魔払いの意味があり、獅子に頭をかまれるとその年は無病息災で元気に過ごせるという言い伝えもあります。今年一年、みんなが幸せに過ごせますよう、子ども達と獅子にお願いしました。 あゆみ保育園 園長 濱中 美穂



デイサービス センター

あゆみえんです！

新年を迎え、冬の装いも本格的な季節となりましたがみなさまいかがお過ごしでしょうか？昨年のデイサービスを振り返ると、世界的なコロナ禍によりウイルス感染防止に重きを置いた、今までの日常とは少し違った制限の多い一年でもありました。

昨年は、そんな日常ではありましたが、みなさまにデイサービスに来ていただき充実した楽しい一日を過ごして貰うべく、職員みんなで話し合いを重ねアイデアを出し合って参りました。

西洋文化に触れてご好評頂けた「ハロウィン」や、ご自宅に持ち帰りお部屋に飾る事もできる「苔玉づくり」、ほかにも夏には日陰を利用した涼しげな「オープンカフェ」で会話を楽しみくつろいだりと、様々なメニューを用意して当デイサービスセンターにて日常を忘れ、楽しんで頂けたのではないかと自負しております。

今年もまだ始まったばかりではありますが、できるだけ昨年実施することが出来なかったアイデアや行事などを取り入れて、みなさまからは「デイサービスに来たら夢中で1日があっという間に過ぎる」と言われるような楽しい場所を提供して行けたらと考えております。

介護1課 金子知雄



～ちょっと変わった人（発達障害）と繋がる相談援助～



日々相談援助をしていると思うことは、『こういう人、普通にいたよね』ということです。少々変わった人も一緒に巻き込んでやっていける“懐の深さ”みたいなものが、以前の地域社会にはあったと思います。ところが現代は、携帯やネットなどのコミュニケーションツールの発達で、目の前にいない人とすぐに繋がる事ができる時代です。しかし、人は便利さを手に入れるとその分、他の機能が退化していく事が考えられます。目の前の人と繋がれないのは、《繋がろうとしない》《近くにいる人と折り合いをつけながら一緒に生きて行こう》という思いが希薄になっているのではないかと思います。

人と人が繋がることは、時に多くの心労を伴います。が、繋がれば人は『いかされる』ものです。人は人に親切にしてもらったり、それを目にしたりすると、それだけで嬉しくなって誰かにそれを伝えたり、思い返したりしたくなるものです。お互いにいかし合えたら、win-winの関係になれるかもしれないよ。

地域包括課 岸京子



青梅市のヘルプカードです。

障害のある方が困っているような場合は、「何かお手伝いすることはありますか？」と声をかけてください。

ショートステイ

みなさま、新年明けましておめでとうございます。

コロナウイルスとの闘いは相変わらず続いておりますが、三が日にはみなさまの無病息災を祈願に御岳神社に行ってきました。

毎年の事ではありますが、年末年始にショートステイを利用し、三が日をあゆみえんでお過ごし頂く方が大勢いらっしゃいます。1月1日には初日の出と新年のあいさつから始まりおせちの提供がございいます。またレクリエーションでは正月のものを中心に行っております。

本年も変わらずショートステイを稼働して参りますので宜しくお願い致します。

介護2課 係長 原 純一

コロナ禍でも 逢いたい気持ちに 応えます。

終息の见えない新型コロナウイルスの猛威。
コロナ禍で無ければ、通常どおりご家族に
はフロアまで面会に来て頂けていたのに、現
在はそれが叶わず大変心苦しい限りです。

そんな中、あゆみえんでは10月に試験的
に実施、11月中旬の本開始の予定で少しでも面会の再開に向けてと窓を隔ててにはなります
がお互いの顔を見ながら電話で話し合うというスタイルの面会を開始しました。

ご利用者、ご家族がなかなか逢えずにいた分、マスク越しからもわかるくらい、お互い笑顔
で会話されているのがとても印象的でした。

今後、コロナの終息を願いながら、何もしないではなく、出来ることから、様々なことに取
り組んでいければと思います。

介護3課 佐々木雄一



青梅紹介

青梅だるま市



毎年1月12日に行われる青梅市の伝統的な行事です。「青梅だるま市」の由来は青梅が
織物の産業で栄えていたことによります。当初は養蚕の繁栄を願い、1年で最初の市場とし
て1月12日に「まゆ玉」を市場で販売していました。時代を経て養蚕産業は衰退しましたが、代わりに縁
起物である「だるま」が販売されるようになりました。開催当日は青梅駅の近くにある旧青梅街道が歩行者天
国となり、「だるま」の販売が行われ多くの人で賑わいます。実は「だるま」は様々な種類があり、色によっ
て受けられるご利益が異なります。ご家族、ご友人でそれぞれの願いにあったものを選ぶのも楽しいですね。
2021年は感染症予防のため残念ながら中止となってしまいましたが、また行事ができることを楽しみにし
ています。

総務課 高橋摩耶

□ あゆみえんインフォメーション □

詳しいお問い合わせは、あゆみえん、相談課まで
電話 **0428-30-5550**

あゆみ VOL.98

発行 社会福祉法人 徳心会
特別養護老人ホーム あゆみえん 広報委員会
〒198-0024 青梅市新町9丁目2153番地3
TEL.0428-30-5550 FAX.0428-30-5570
発行人 園長 五島泰嗣
編集人 広報委員長 阿部裕樹
発行日 令和3年 1月15日
E-mail ayumien@tokushinkai.jp
HP https://tokushinkai.jp/



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を
得て掲載しております。

明けましておめでとう
ございます。

2021年になりました。
東京オリンピックは
本当に開催できるのか？
という疑問はありますが、
それよりもまず、今年
はデパートにどんなバ
レンタインチョコレート
が並ぶかを楽しみにして
います。

去年は友人に顔ほどの大きさのある恐竜の形をしたチョコ
コを送って驚かすことに成功しましたが、今年は恐竜以上の
インパクトをどう出すか悩んでいます。

イラスト・記事 介護4課 久保田萌奈

たもん

